

令和4年度三松小学校経営ビジョン・重点取組事項

令和4年4月1日

学校経営ビジョン

児童の「協働力」を高め、「自立」しようとする児童の主体性を育む。

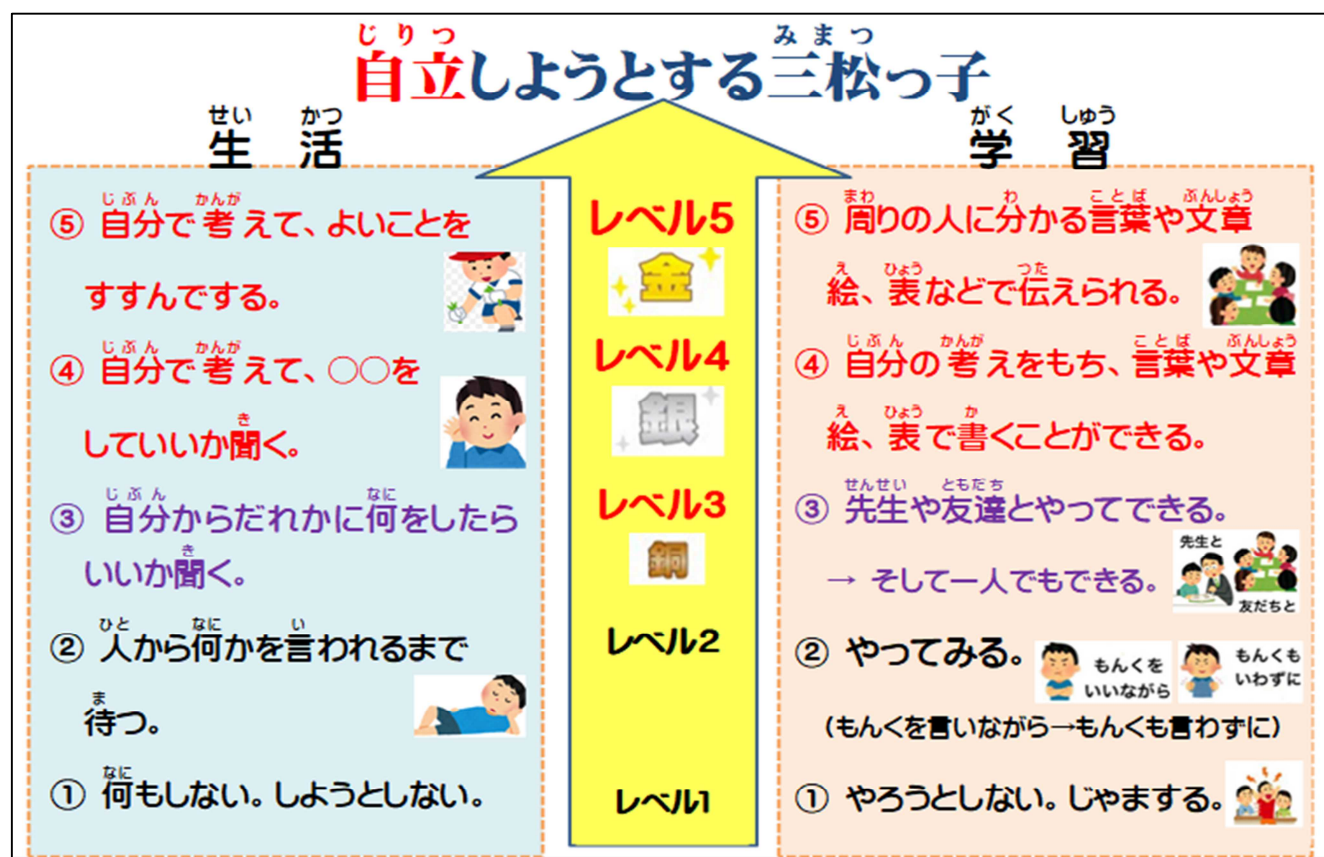
ビジョン推進のキーワード

キーワード	児童の姿	共通実践
協同	学級や個人の課題等の解決方法を自分達で決め、決まったことを協力して取り組む。	みまつ会議の積み重ね(その学年での積み重ね、学年を重ねての積み重ね)
自立	学校生活の様々な場面で、今、自分は何をなすべきかを考え、進んでよいことをしたり、進んで学習をしたりする。	目指せ金メダル(自立しようとする三松っ子を育むレベル表)の活用

重点取組項目 ※ 令和4年度の重点取組項目は、前年度に職員で各目標の中から絞り込んで設定

目標	令和4年度の重点取組項目	共通実践
目標1 基礎・基本の確実な定着及び読解力・思考力・表現力等力の向上	授業力の向上 三松メソッド、3あい目標(助け合い、教え合い、練り合い)に則した授業	タブレットの効果的活用や一人一授業公開
目標2 自他の存在、きまり、礼儀の尊重及び豊かな心の育成	基本的な生活習慣の定着 基本的な生活習慣(挨拶、返事、椅子や靴入れ、手洗いや消毒等)の定着100%	スクールワイドPBSの推進(学校全体で取り組むポジティブな行動支援。望ましい行動を教え、その行動ができた時に称賛する。)
目標3 基礎体力の向上、食育推進及び望ましい健康生活習慣の定着	基礎体力及び運動能力の向上 基礎体力の向上	体育授業での三松サーキット(準備運動)の共通実践
目標4 特別支援教育の充実	学校全体で取り組む支援体制「全ての教職員が取り組む特別支援教育」 三松小特別支援教育教職員の手引き(Ver. II)をもとにした特別支援教育の充実	特別支援教育を意識した指導・環境づくりチェックシートに基づいた共通実践
目標5 事務部の校務運営への参画及び教育支援	校務運営への参画 財務マネジメントの組織的实施	文書電子化で前年度決算額の印刷経費削減2割減
目標6 量を減らして質を高める働き方改革の推進	家庭と協同した教育の推進 学校や家庭での生活・学習などについて、親子で話し合う「家庭の日」を設定	児童の健全育成のための3つのお願い(早寝朝食、家庭学習、スマホのきまり)の文書配付(4月)

自立しようとする三松っ子を育むレベル表（目指せ金メダル）



自己決定を促し、自立する力を育む4つの取組



目標 1 基礎・基本の確実な定着及び読解力・思考力・表現力等力の向上

1 基礎・基本の定着

- ・ 基礎的、基本的な学習内容の定着→学級の実態に応じた「ぐんぐんタイム」の実施及び「ぐんぐんタイム」でのタブレットの効果的活用
- ・ 基本的な学習習慣（聴く、返事、鉛筆握り、立腰、1分前着席）の定着90%
- ・ C R T（1～4年）、みや学テ（5年）、全国学テ（6年）に向けて習熟及び活用

2 読解力・思考力・表現力等の育成

- ・ 読解力・思考力・活用力育成→「ドリル国語」を活用した「ぐんぐんタイム」の共通実践
- ・ キャリア教育による人材育成や外部人材を活用した体験活動充実→学びたい度4月比120以上（6年生）
- ・ 読書奨励（水曜日朝自習での読書や読み聞かせ）→図書貸し出し前年比100以上
- ・ 新聞作文コーナーへの積極的投稿→各学級1作品以上、昼の放送での児童作文発表

3 授業力の向上（令和4年度重点）

- ・ 三松メソッド、3あい目標（助け合い、教え合い、練り合い）に則した授業実践
- ・ 効果的なタブレット活用
- ・ 一人一授業公開

目標 2 自他の存在、きまり、礼儀の尊重及び豊かな心の育成

1 基本的な生活習慣の定着（令和4年度重点）

- ・ 基本的な生活習慣（挨拶、返事、椅子や靴入れ、手洗いや消毒等）の定着100%

2 豊かな心の育成

- ・ みまつ会議を通じた自治的集団（学級）づくり
- ・ 「褒める、認める」を基本とした1単位時間内での全員への評価とフィードバック
- ・ 学級活動の活性化や道德教育、人権教育の充実
- ・ ボランティア活動の励行→ボランティア活動実施70%以上

3 いじめや不登校の早期発見・早期対応

- ・ アンケートやQ Uに基づく教育相談や情報共有、積極的家庭訪問→不登校0、いじめ認知解消率100%
- ・ スマホ（SNS）の正しい使い方指導→外部講師招聘による高学年授業実施100%

目標 3 基礎体力の向上、食育推進及び望ましい健康生活習慣の定着

1 基礎体力及び運動能力の向上（令和4年度重点）

- ・ 基礎体力の向上→体育授業での三松サーキット（準備運動）による体力向上

2 保健指導の充実・病気の予防と治療率向上

- ・ 感染症対応 手洗い、マスク着用、ソーシャルディスタンスなど
- ・ 養護教諭との連携や個別指導の充実→う歯治療率90%
- ・ 全職員で協力したフッ化物洗口の実施

3 家庭と連携した基本的な生活習慣の定着及び食育の推進

- ・ 家庭と連携した早寝・早起き・朝ごはんの定着→朝ごはん摂取率100%
- ・ 給食感謝週間や「弁当の日」「食育の日」の実践→100%
- ・ 食事マナー向上、正しい箸の持ち方指導→正しい箸の持ち方90%
- ・ 学校栄養職員の活用→各学級での給食指導又はT T授業100%

目標 4 特別支援教育の充実

- 1 学校全体で取り組む支援体制「全ての教職員が取り組む特別支援教育」(令和4年度重点)
 - ・ 「三松小特別支援教育教職員の手引き (V e r . II)」の活用
 - ・ 支援レベルⅠ～Ⅳの段階的支援(担任→学年→校内→支援員配置、通級、就学変更等)
 - ※ 支援レベルⅣの児童の「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」作成100%
 - ・ 特別支援教育を意識した指導(活動のルーティン化や可視化、個性の理解など)
 - ※ 定期的に特別支援教育研修(年5回程度)を実施し、指導力向上を図る。
 - ・ 特別支援教育支援員と連携した支援
 - ※ 担任が作成する「個別の指導計画」を基にした綿密な打ち合わせ(6月、10月)
- 2 特別支援学級児童に係る交流学級と協同した支援
 - ・ 特別支援学級担任が作成する「個別の指導計画」を基にした情報交換(随時)
- 3 就学指導の計画的実施
 - ・ 「三松小特別支援教育リーフレット」の活用(令和4年度発行予定)
 - ・ 保護者に寄り添った教育相談(必要に応じて、特別支援教育コーディネーターや管理職同席しての丁寧な対応)

目標 5 事務部の校務運営への参画及び教育支援

- 1 校務運営への参画(令和4年度重点)
 - ・ 財務マネジメントの組織的实施(印刷経費削減→文書電子化で前年度決算額の2割減)
 - ・ 学校の情報発信への取組(学校HPの情報更新)
 - ・ 管理職・学級との連絡調整による各種連絡文書・たよりの電子化推進
- 2 教育支援への取組
 - ・ 特別支援教育の充実(財務マネジメントでの検討→必須事項)
 - ・ 就学援助制度利用への情報提供(事務室窓口での相談対応→随時)
 - ・ 学校HPでのコンテンツ掲載→常時
 - ・ 新型コロナウイルス、熱中症対応(財務マネジメントでの検討→必須事項)
 - ・ 給食・食育の取組(献立、毎月の給食便りの電子掲載、弁当の日実施紹介の掲載)
- 3 学校事務職員の新たな資質向上への取組
 - ・ 事務職員資質向上(校務運営参画と教育支援のあり方などの研修実施→5回以上)
 - ・ 教育支援の具現化に向けた知見習得(研究授業等参観への参加→全回数の70%)

目標 6 量を減らして質を高める働き方改革の推進

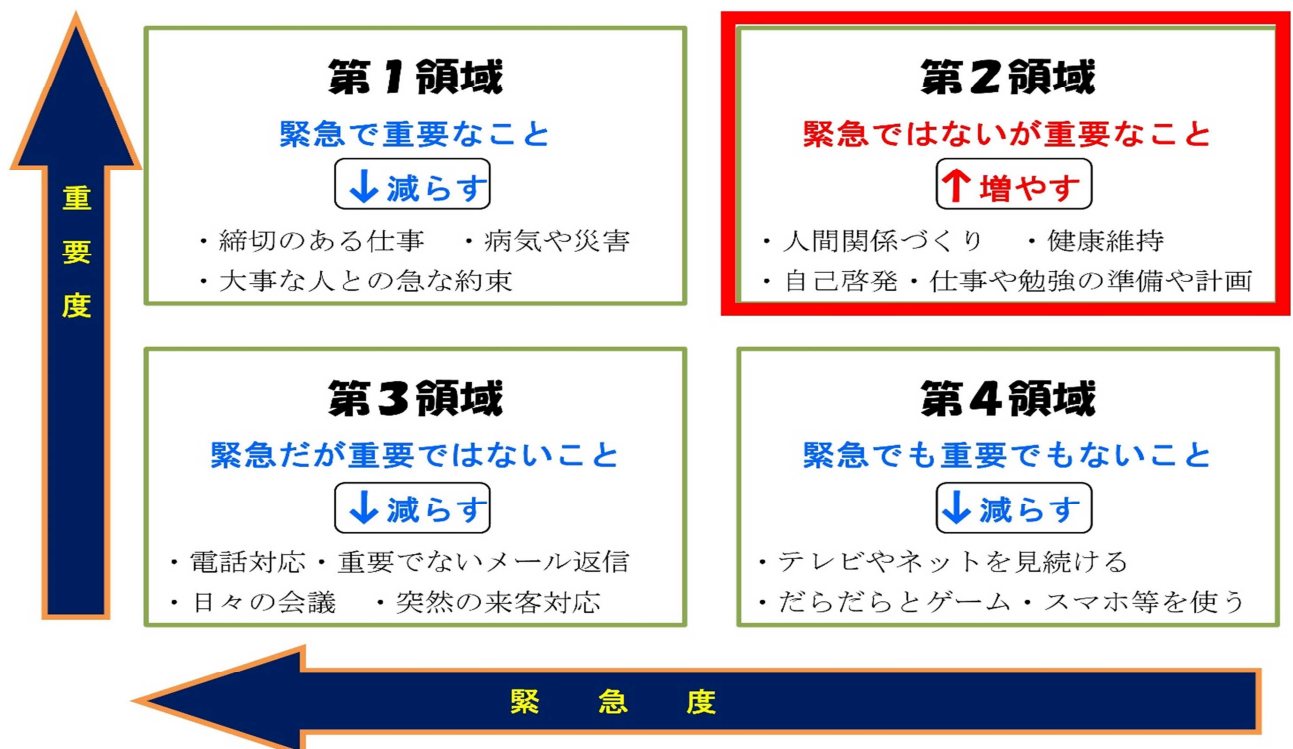
- 1 職員研修日の見直し
 - ・ 水曜日に主題研修、タブレット研修、コスモス委員会、特別支援教育研修、職員会を位置づけ、放課後に余裕をもたせ、教材研究の充実を図る。
- 2 高学年での一部教科(国語、算数、外国語科)担任制の導入
 - ・ 教材研究を集中して行い、授業力の向上に努める。
 - ・ 他学級の児童の様子、学習状況を把握し、学年経営、生徒指導に活かす。
- 3 終礼の有効活用
 - ・ 終礼は木曜日に実施。この他、連絡は日報やシーフォースも活用する。
- 4 家庭との協同した教育(令和4年度重点)
 - ・ 学校や家庭での生活・学習などについて、親子で話し合う「家庭の日」を設定し、保護者と学校とで同じベクトルで教育にあたる。
- 5 総合型校務システムの積極的活用
 - ・ システムによる出席簿自動集計、システム内の時間割作成による授業時数集計等が可能となるため、積極的に活用する。

三松小学校全員で目指す『Want to』

- 柔軟な発想にあふれ、『ピンチをチャンス』として自己啓発できる教師
- 『Have to から Want to へ』を意識し、自分の働き方を改善できる教師

経営ビジョン(ゴールイメージ)の共有！

目標実現に向けた一人一人の個性・発想を生かした取組を大切に！



コロナプラス

安心・安全なウィズコロナ

コロナプラス眼鏡で見つめなおすと・・・

- 全校無欠席日が増えたね。
 - インフルエンザも減ったね。
 - オンライン研修の機会が増えたね。
 - 友達と話せる幸せを実感できたね。
 - 今こそ人権教育のチャンスだね。
- 子供の**学びたい**気持ちが高まるように、**コロナプラス**を見つけたい。



- 新しい生活様式の定着
- 人権教育体制の充実

「**偏見・差別**」を
「**尊敬・感謝・真心**」に！